

一般社団法人日本狩猟協会 2024年度活動報告

(自 2024年10月2日 至 2025年3月31日)

I 概要

活動の総括

総会・理事会の開催状況

II 活動報告

1. 主要施策(取り組んだ活動・プロジェクト)

(1)ハンターコミュニティ活動

(2)ハンターハウス活動

(3)ハンター保険活動

(4)ハンターナレッジ活動

2. イベント実施

3. 次年度の方針・改善点

各マイルストーンの振り返り

III 組織等の現状

1. 役員等に関する事項

(1)理事

(2)監事

(3)退任した役員等

(4)役員等の報酬等

2. 資産および負債に関する事項

(1)主要な借入先及び借入額

(2)重要な契約に関する事項

3. 会員の状況

4. 従たる事務所の状況

IV 付属明細書

I 概要

活動の総括

一般社団法人日本狩猟協会は、2024年5月に設立メンバー3名を中心に活動を開始し、同年10月2日に法人化いたしました。「Update Hunting!」を活動テーマに掲げ、狩猟を取り巻くさまざまな課題に対して、エンジニアリングの視点から解決を図ることをミッションとしています。

初年度ということもあり、正会員および賛助会員の大々的な募集には至っておりませんが、ミッションに共感いただける仲間が徐々に増えつつあります。また、狩猟業界のアップデートに向けた足がかりとして、「ハンターナレッジ」や「ハンターハウス」などのプロジェクトも動き始めています。さらに、毎週の定例ミーティングを継続して実施しており、来年度はより具体的な成果が期待される一年になると見込んでおります。

総会・理事会の開催状況

【1】定時総会の開催

日時:2025 年 3 月 31 日(月) 21 時から 22 時
場所:Discordサーバー「オンライン猟遊会」定例会議室チャンネル
議案:第1号議案 2024 年度 事業報告書及び決算報告書承認の件

【2】理事会の開催

一般社団法人日本狩猟協会は理事会は設置しておりません。

【3】定例会の開催

会員有志による定例会が毎週開催されており、法人化前より合計して43回開催されました。定例会では、今週のホットな狩猟トピックについてディスカッションしたり、各会員の宿題進捗を発表したりしています。

II 活動報告

1.主要施策(取り組んだ活動・プロジェクト)

(1)ハンターコミュニティ活動

狩猟業界は、他の産業と比較して、ドキュメント化された情報が極めて少ないという特徴があります。その背景には、銃砲を扱うという業界の特性上、インターネット上での情報公開に慎重にならざるを得ない事情があると考えられます。さらに、銃砲の所持者自体が限られているため、経験や知見が個々に分散し、情報が集積されにくいという構造的な課題も存在しています。

こうした状況を踏まえ、日本狩猟協会では「ハンターコミュニティ」プロジェクトを立ち上げ、狩猟者同士が安心して交流できるクローズドなコミュニティスペースを運営しています。現在は、DiscordおよびFacebookの2つのプラットフォーム上でコミュニティを展開しており、経験豊富な狩猟者はもちろん、これから狩猟を始めたい初心者の方も気軽に参加できる環境を

整備しています。

現在のコミュニティ参加者数は、以下の通りです。

	2024年度末
discord	50
facebook	31

この取り組みにより、狩猟に関するノウハウや知識の共有が活性化され、業界全体の情報流通基盤の強化につながることを目指しております。

(2)ハンターハウス活動

ハンターハウスは、狩猟者が安心して宿泊できる環境を提供するために開発された、銃器保管設備を備えた宿泊施設です。

銃砲所持者には、銃器の適正な保管および管理が法令により義務付けられており、通常は自宅にガンロッカーおよび装弾ロッカーを設置する必要があります。

しかし、北海道などの遠隔地への狩猟遠征においては、このような設備を確保することが難しく、多くの宿泊施設にはガンロッカーが設置されていないのが現状です。そのため、宿泊中も銃器の管理責任は狩猟者本人に課せられ、精神的・物理的な負担が大きくなっています。

こうした課題を解決するため、日本狩猟協会では、ガンロッカーを備えた宿泊施設「ハンターハウス」を全国に展開し、狩猟者がより自由に、そして安心して遠征できる環境の整備を目指しています。

現在展開中のハンターハウスは、以下の通りです。

	稼働状態	2024年度 利用者数	2025年度利用者数目標
ハンターハウス新夕張	プレオープン	0	30
ハンターハウス成田	準備中	0	10

なお、日本狩猟協会は非営利型一般社団法人のため、各物件の運営維持には関与していません。協会が担う活動は、無償でのHP掲載とプロジェクト賛同者の募集に限ります。

(3)ハンター保険活動

現在、猟友会に属していないハンターや、地域に猟友会が存在しないエリアのハンターが直面している大きな課題のひとつに、「ハンター保険」の確保があります。ハンター保険とは、狩猟者が各都道府県において狩猟者登録を行う際に提出が義務付けられている損害賠償保険であり、狩猟活動中の事故に備えるための重要な制度です。

一般的には、各地の猟友会が提供するグループ共済保険に加入することで対応されていますが、猟友会に属さないハンターは、自ら保険契約先を探す必要があります。

しかしながら、こうしたハンターが個人で加入可能な保険商品は非常に限られており、契約先が見つからずに、狩猟を始める前に断念せざるを得ないケースも少なくありません。その背景には、ハンター保険が基本的に「団体向けのグループ保険」として提供されており、個人単位での契約が困難であるという構造的な課題があります。

このような状況を受け、日本狩猟協会では、グループ保険の契約主体となることで、一人からでも加入可能なハンター保険の提供を目指しております。これにより、狩猟を志すすべての人が、より公平にスタートラインに立てる環境の整備を進めてまいります。

※当法人は、会員向け福利厚生の一環としてグループ保険の契約取りまとめを行っておりますが、本活動に関して保険会社等からの手数料・報酬等の収益は一切受領しておりません。

(4)ハンターナレッジ活動

狩猟に関する知識の継承と記録を目的として、今年度はブログおよびナレッジスペースの整備に取り組みました。

ブログについては、「Hunter Blog」というウェブサイトを開設し、活動や知見の発信を行っています。

また、ナレッジスペースについては、Cosenseというプラットフォーム上に「オンライン猟遊会」というスペースを立ち上げ、狩猟に関する情報や知識を蓄積・共有する場として運用を開始しました。具体的な活動の様子については、以下のリンクよりナレッジスペースをご覧ください。

<https://scrapbox.io/online-hunting-union/>

2.イベント実施

上記の継続的な取り組みを続けるプロジェクトとは別に、狩猟関係のイベントも開催しました。具体的な活動報告は以下をご覧ください。

- [茨城県にほんとにキョンはいるのか調査してみた。 - Hunter Blog](#)
- [外来種「コブハクチョウ」問題を解説する - Hunter Blog](#)

3.次年度の方針・改善点

本年度の主な反省点は以下の通りです。

- 組織としてのマイルストーン設定およびその周知が不十分だった
- 会員の募集活動を開始できなかった

マイルストーンの設定や、その達成に向けた計画が十分に整備されていなかった背景には、一般社団法人という組織形態に伴う運営体制の脆弱さや、必要なリソースを十分に確保できていなかったことが大きな要因として挙げられます。

法人化時点で設定していたマイルストーンは以下の3点でした。

1. ハンター保険の提供を開始する
2. 食肉処理場の事業化に着手する
3. 提携団体を6組織迎え入れる

しかし、いずれの目標も本年度中の達成には至りませんでした。

各マイルストーンの振り返り

- ハンター保険の提供
当初は夏季の狩猟登録に間に合わせることを目指していましたが、法人用の銀行口座の準備が遅れたことから、保険代理店との契約締結が間に合わず、次年度への持ち越しとなりました。
- 食肉処理場の具体化
事業所の買収または新規物件の取得・改修を視野に入れて検討を進めてきましたが、現時点では許認可取得に向けた具体的な計画を立てる段階には至っていません。
- 提携団体の誘致(6組織)
この目標は、「オンライン猟遊会」コミュニティの活用促進を前提として掲げていましたが、途中で「コミュニティ強化」という、具体的数値目標を伴わない方向に切り替えてしまったため、進捗状況の可視化が困難になりました。今後の目標設定においては、定量的かつ検証可能な基準の導入が必要だと痛感しています。

さらに、振り返ってみると、「食肉処理場の具体化」および「コミュニティ強化」という目標が、当法人の掲げるミッション「Update Hunting!」とどれほど整合していたかについても、再考の余地があると感じています。

たとえば、食肉処理場の整備が狩猟業界にどのようなアップデートをもたらすのか、当初は明確なビジョンを描けていませんでした。

また、コミュニティ強化に関しても、日本狩猟協会の成長自体が必ずしも一般の狩猟者にとって直接的なメリットとはならない点に、より早い段階で気づくべきでした。

こうした反省を踏まえ、2025年度の目標は以下の3点に絞り、会員総会にて承認されました。

1. ハンター保険の提供を開始する
2. 無線機に関するオープンソースプロダクトをリリースする
3. 狩猟研究誌を発行する

Ⅲ 組織等の現状

1.役員等に関する事項

(1)理事

役職	氏 名	主な兼務先
代表理事	野田 言	株式会社GeekBeer 代表取締役
理事	北村 直樹	合同会社EngineMaker 代表社員
理事	徳谷 康憲	夕張市議会議員

(2)監事

監事はいません。

(3)退任した役員等

任期中中により、退任した役員はいません。

(4)役員等の報酬等

役員報酬等の支払いはありません。

2.資産および負債に関する事項

(1)主要な借入先及び借入額

借入はありません。

(2)重要な契約に関する事項

重要な契約はありません。

3.会員の状況

	2024年10月	2024年度推移		2024年度末
		入会	退会	
正会員	3	4	0	7
賛助会員	0	0	0	0
計	3	4	0	7

4.従たる事務所の状況

従たる事務所について報告すべき変更はありません。

IV 附属明細書

2024年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告を補足する重要な事項」が存在しないので作成していません。